

放課後等デイサービス自己評価表

ハッピー天六駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		児童の特性に合わせて部屋割りをやっている。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	1	職員の配置基準はクリアできているが、職員(基準人員)は余裕がない日もある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8		バリアフリーの配慮及び児童の導線を確保している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8		日々の支援の振り返りや課題点等について職員全体で話し合っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		保護者作成の評価表を確認し、業務改善に向けて話し合う機会を設けている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1	昨年度開所の事業所のため、今年度から実施予定。結果にもとづいて内容の改善に取り組んでいく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	3	内部監査の実施にて業務改善の機会としている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		定期的に全職員が研修を受講している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8		個支検討会議開催にて他職種参加の上、作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		アセスメントシートは会社で統一した書式で運用し、年齢に合わせたものを使用して聞き取りを行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		話し合いの中で案を出しながらお子さまの状態に合った活動プログラムを考えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		過去の記録を参照し、常に進捗を共有し、支援内容が偏らないようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8		学習課題の量の調整や、長期休暇時はイベントを行い、余暇的要素も取り入れている。
	14	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	8		自立活動や創作活動等、一人ひとりが楽しめるような工夫を行いながら実施している。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	8		見学时や契約前に説明を行い、個別・集団のニーズを合わせた計画を立案している。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		前回の支援の様子も共有しながら必ず支援内容や提示方法についても共有している。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		支援の良かった点・改善が必要な点を全員がいる場で振り返っている。
18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		記録は詳細に記入し、お子さまの反応や次回支援に取り入れてほしいこと等を記載している。	
19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8		フィードバックの時間はもちろん、定期的にモニタリングやアセスメントを行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		管理者や担当職員が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	1	保護者を介して連絡を行っている。場合により、学校担当者ともやりとりを行っている。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8		保護者の希望があれば、学校に訪問して情報共有を行っている。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	5	連絡調整を行い、然るべきサービスの情報提供をしている。

放課後等デイサービス自己評価表

ハッピー天六駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2	外部主催の研修を受講することがある。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		8	直接的な関わりを持つことはできていないが、機会があれば実施予定。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8		区内の子ども部会に児発管が参加している。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		家や園での様子をお伺いし、お子さまの成長を共有することで、共通理解を図り支援を行っている。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8		ペアレントトレーニングとして実施できていないが、フィードバック時や別時間で相談を受け、対応している。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		契約時や日々の支援にてお伝えしている。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		フィードバックの時間や保護者の希望に応じて事業所内相談支援を用いて、対応している。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	5	集団支援やイベント実施の際に保護者同士の関わりを作ることができるようにしている。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		状況や内容を聞き取り、上長に相談した上で対応している。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		定期的にイベントの案内を行い、参加を促している。
	34	個人情報に十分注意しているか	8		見学時に個人情報に関する同意書を記載していただいている。また、使用しない際は鍵付きのロッカーに保管している。
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		大切な話の際は別室で対応をすることや、視覚/聴覚等の情報を駆使して対応している。
36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	3	外部向けのイベントを毎月行っている。	
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8		共有スペースにマニュアルなどを開示し、法で定められた対応を行っている。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		法的ルールを順守し、年2回訓練を実施している。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		研修の参加とチェックリスト作成にて振り返りを行っている。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8		計画書への記載はないが、教室内で話し合う機会を作っている。また、契約時に説明もしている。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1	食事の提供はないが、契約時に書面にて確認を行っている。
42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		朝終礼にて共有を図り、ファイリングにて閲覧可能な状況にしている。	